

# 清算事業団の仲間を奪還をかちとろう



1988.7.5  
No. 2850

国鉄千葉動力車労働組合  
千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五〇六（公衆）〇四七二二二七二〇七

鉄道労連の「清算事業団労働者再就職促進実施計画」を弾劾！

### この一年が正念場！

清算事業団の仲間をめぐる決戦は、この夏、重大な山場を迎えている。竹下内閣は「清算事業団職員再就職促進実施計画」を閣議決定し、「半数をこの一年で再就職」なる攻撃に出てきた。清算事業団の労働者が現に不屈に闘い続けていること、再就職あつ旋の期限まであと二年に迫っていることなどから、危機にかられた首切り攻撃に突き進んでいるのだ。

また、動労革マル・鉄道労連は、過日の全国大会でわざわざ「清算事業団決議」をあげ、その中で「民間企業人としての自己形成をはかり、再就職を有利にする条件をつくるべき」とか、「主体的に再就職の道を決定するように努力すべき」とか、「JR各社は、事業団所属の再就職未定者の採用の可否については慎重に対応すべき」などと、清算事業団の労働者はJRには入れるな」と主張している。なんたる連中だ！

これまでも動労革マル・鉄道労連は事業団労働者に最大級の悪罵を投げ付けてきた。これは、清算事業団の労働者こそ、動労千葉や国労の旗のもとに国鉄労働運動の先頭に立って来たからであり、国鉄当局と動労革マル・鉄道労連と一体となった分割・民営化に国鉄労働運動解体攻撃と真っ向から闘ってきたからである。鉄道労連解体こそ事業団労働者の原職奪還の道である。

### 清算事業団の仲間を奪還することこそ、国労修善寺大会の原点！

現在、北海道・九州を中心に五千名もの労働者が、あくまでも原地・原職奪還にむけて不屈に闘い抜いている。これに対して国労中央は、「討議資料」なるものを下ろした。この中には、なんと「本州三会社と公的部門への再就職」方針を打ち

出したのだ。この「再就職」方針は、国労西日本の「出向協定締結」と並んで国労を解体する方針ですらある。

現に当該の事業団労働者が「十年戦争」で闘う決意を打ち固め、物販活動をはじめとする取り組みを開始し、またこの間の地労委闘争も有利に展開されているにもかかわらず、「再就職」方針を打ち出すことは清算事業団の闘いを完全に放棄し、首切り攻撃に手を貸すものとなることは明らかだ。この裏切り方針は徹底的に弾劾しつくされて当たり前である。

### 総反撃をつくりあげ清算事業団の仲間を奪還しよう！

動労千葉は、十二名の清算事業団の仲間の現職奪還をかちとるべく、地労委闘争をはじめとした闘いを闘い抜いている。組合役員というだけで「不採用」としたことを絶対に許さない！長期波状ストライキを貫徹し、動労革マル・鉄道労連を打倒し、国鉄労働運動の闘う再生をかちとるなかでこそ、清算事業団の仲間の原職奪還をかちとられる。全国の国労組合員のみならずとも闘おう！

**夏季物販**  
**1人 15,000円**  
**目標達成にむけて**  
**がんばろう！**